

山元町議会議長 伊 藤 貞 悦 殿

総務民生常任委員会
委員長 岩 佐 秀 一

所管事務調査中間報告書

本委員会は、所管事務調査を下記のとおり実施したので中間報告します。

記

1 調査事項

- (1) メガソーラー事業に関連する環境・防災・住民合意について

調査月日：5月12日、5月18日、5月20日

2 調査内容

- (1) 山元東部地区非農用地(花笠地区)の活用事業において、沿岸被災跡地における民間事業者が行う太陽光発電事業計画に関し、太陽光パネルにおける環境への影響の説明を受け、太陽光パネルの仕様を確認したところ国際認証を受けているが使用パネルに有害物質(鉛)が含まれることが示された。鉛の環境への影響について通常使用では、完全に密閉されているため無害であるが、災害で激しく大破した場合、微量の鉛が溶け出すリスクはあるとのことであった。また、津波を想定した具体的な環境アセスメントは未着手であることの状況を調査した。

3 調査結果

意見

- (1) 震災の教訓から「安全・安心の確保」を最重点に求める観点からは、津波によるパネル破損や鉛流出による土壌汚染リスクへの対策、執行部内の組織的な連携不足等、危機意識の低さが感じられた。一昨年換地完了した未利用地の有効的な土地活用策を評価しつつも、次世代への負担回避や町民の懸念を払拭するため、国のガイドラインに定める住民合意に向けた説明会開催等の動向を含め、閉会中も継続して詳細な調査を行う。

以 上